

くらし応援

健康ちえの輪



胃腸の悩み

医療・健康

半年ほど前から、胃もたれや胃の痛みがときどきあり、胃薬を飲んでいきます。

きません。

というのは、これまでに逆流性胃腸炎などで胃カメラの検査を3回受けたことがあるのですが、管がのどにつかえてなかなか入っていかなかったり、呼吸が苦しくなったり、その度にとっても苦しい思いをしたからです。最後に胃カメラの検査を受

胃カメラが苦しい



けたのは、5年ほど前になりました。

胃カメラの際に、麻酔をしたり、管を鼻から入れたりする方法もあると聞きます。最近の胃カメラの検査について、詳しく教えていただけたらと思います。麻酔をすると楽だと言いますが、心配はないのでしょうか。また、胃カメラを受ける時になるべく負担がないようにするコツのようなものがあれば、あわせてお願いします。

(シンプルライフ・塩尻市・39歳)

アドバイス 負担少ない経鼻内視鏡も

胃カメラで苦しい経験をしたことのある方は多いと思います。つらい原因として、管が咽頭部を通る際の嘔吐反射があります。反射が強い人は検査中に何度も嘔吐反射が起き、その都度、胃に空気を入れて膨らますため、検査時間

が長引き、余計苦痛が増してしまいます。咽頭の反射を防ぐために局所麻酔薬を使用しますが、薬に検査が受けられるようにするため、さらに医師の判断で鎮静剤などを使う場合もあります。薬は安全なものを用い

ますが、人によって体に合わないことがあります。アレルギー体質の方は特に注意が必要です。担当医師に相談してください。

胃カメラの管は直径10ミリの弱ありましたが、現在は5・2と5・9ミリの細いものも登場

し、鼻から入れる経鼻内視鏡として使われるようになってきています。経鼻だと咽頭を通らないため、反射がほとんど起こらず、以前より楽に検査が受けられるようになりました。ただ、鼻孔が狭い人や鼻出血を起こしやすい人などは、鼻からでなく、口から入れる場合があります。

医療技術の進歩で体への負担が減ってはいますが、全く苦痛を伴わない検査はありません。大切なのは、なぜ検査を受けるのかを自覚することだと思えます。検査でがんなどが早期に見つかり、恩恵を受けた方はたくさんいます。

(神村盛宣 長野市・伊勢宮胃腸外科院長)